令和２年度　災害・健康危機対策委員会　活動報告

■委員名	委 員 長：西口久代 副委員長：雑賀逸平 委　　員：池田輝美・松本ゆかり・深井功一郎・山本聡子・前川啓子・松田豊・ 中谷裕美・中永映子・神崎初美・中道一義・並河直子・冨田由子
■活動目標	１．地域における連携支援体制について検討 ２．災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 ３．災害支援ナースの登録推進・育成研修 ４．地域の防災訓練への参加。地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み ５．新型インフルエンザ等感染症の研修会の開催
■開催予定	6回 ＊委員会の他、災害支援ナース養成研修や新型インフルエンザ等研修会の企画・運営、防災訓練等への参加
■活動内容	１．委員会の開催 災害・健康危機発生時の看護活動体制整備や受援・派遣のあり方等について協議。「災害時受援マニュアル策定ガイド」を実行可能なものに見直し、会員施設に周知を図る。 ２．災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 災害支援ナースの養成研修・登録更新を見直したことにより、災害支援ナースの登録が増加した。フォローアップ研修、交流会を通じて、活動へのモチベーションの維持向上につながった。 災害支援ナース（基礎編）　7月27/28日　29名　　7月29/30日　51名 10月8/9日　17名　　10月13/14日　26名 災害支援ナース（実践編）　8月20日　51名　　11月17日＋40名 災害支援ナース研修・交流会　　11月26日＋3名 災害支援ナース登録者数　129施設　325名（令和2年10月現在） 288名（昨年同期） ３．受援・支援活動の強化推進を目的として、体制整備の推進、研修企画、啓発活動を実施するとともに災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図った。 ４．看護協会ホームページ等への災害看護や防災についての情報提供 実際の災害支援活動や災害訓練について看護協会のホームページを効果的に活用し、積極的に周知した。 ５．地区の防災訓練、災害対策会議等への参加 兵庫県・阪神地域合同防災訓練に災害支援ナース7名と共に参加。地区で開催される予定であった防災訓練は感染症拡大により中止となった。 兵庫県の災害対策会議、感染症対策会議等に出席。

	６．新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）研修会の企画、運営 新型コロナウイルス感染症をテーマとして、研修会を開催。感染拡大防止策をとってWeb参加も可能としたところ多数の出席があり、効果的な研修ができた。 10月29日　参加者（会場参加65名　Web参加256名）
■活動の評価	コロナ禍においても、感染防止対策を徹底し、災害支援ナース養成研修を実施した。応募者も多く、1期を2回に分けるなど工夫して予定していた研修を実施することができた。 看護管理者を通じて登録更新状況を確認するように変更したことで、災害支援ナースの管理が容易になり、施設内の災害対策への意識の高まり、災害支援ナースの活動意欲向上にもつながったと思われる。 災害時受援マニュアル策定ガイドを作成。各施設での取組強化の支援となった。 新型コロナウイルス感染症研修会をWEBで開催し、多くの施設が職場研修として複数人が受講するなど効果的な研修会が開催できた。
■活動の課題	・健康危機関連規程集の見直し ・感染症対策の充実強化